

基本情報		
1.所属	1-1.組織名	株式会社アイエンター
	1-2.部署名	マリンテック事業本部
	1-3.組織の住所	東京都渋谷区渋谷2-14-10 長沼ビル5F
2.担当者	2-1.役職	チーフ
	2-2.氏名	遊見 祐介（すさみ ゆうすけ）
3.連絡先	3-1.電話	090-9812-9852
	3-2.メールアドレス	y-susami@i-enter.co.jp
4.関連ホームページ	4-1.HP①	https://i-ocean-global.com/
	4-2.HP②	https://www.i-enter.co.jp/marine-tech/
	4-3.HP③	
支援内容		
5.支援領域	5-1.選択式	☐ 資源評価・管理に向けた支援 ☒ 水産業の成長産業化に向けた支援 ☐ 漁村の活性化に向けた支援 ☒ 省人化・省力化に向けた支援 ☐ その他
	5-2.その他の詳細	
6.デジタル化支援の可否	☒ 可 ☐ 不可	
7.活動・連携エリア	7-1.エリア情報	☒ 全国 ☐ 北海道地区 ☐ 東北地区 ☐ 関東地区 ☐ 中部地区 ☐ 近畿地区 ☐ 中国地区 ☐ 四国地区 ☐ 九州地区 ☐ 沖縄地区
	7-2.具体的なエリア情報	拠点：東京本社/横浜ラボ/大阪支店/福岡支店/札幌支店/仙台支店/沖縄支店/北見支店 関連会社：ベトナム
提供可能な支援内容		
8.提供可能な分野	8-1.選択式	☐ 資源管理 ☐ 生産（遠洋漁業） ☐ 生産（沿岸漁業） ☒ 生産（沖合漁業） ☐ 生産（養殖業） ☒ 加工 ☒ 流通 ☐ 消費 ☐ 観光 ☒ 海業 ☐ その他
	8-2.その他の詳細	システム開発ではどの分野でもオーダーメイドで開発が可能です。
9.支援方法	9-1.選択式	☒ デジタル化領域におけるコンサルティングの提供 ☒ デジタル化に関する商品やサービスの提供 ☒ 共同研究や実証に関する相談 ☐ その他
	9-2.その他の詳細	
10.支援方法で「デジタル化に関する商品やサービスの提供」を選択した場合の詳細	10-1.選択式	☒ 資源評価・管理に関するデジタル化支援 ☒ 水産業の成長産業化に関するデジタル化支援 ☒ 漁村の活性化に関するデジタル化支援 ☐ その他
	10-2.その他の詳細	システム開発ではどの分野でもオーダーメイドで開発が可能です。
11.支援内容の詳細①	11-1.支援タイトル	水質の24時間リアルタイム監視支援（IoT水質センサー）
	11-2.課題解決の方向性	海面養殖、陸上養殖、池や川の水質状態をWebブラウザより、24時間リアルタイムで監視できるサービス。通知機能も搭載しているので、異常が発生した場合はメールやLINE、電話での通知が可能となり、夜間の斃死リスクの軽減や、作業者的の心理的負担を軽減する。
	11-3.具体的な支援内容	IoT水質センサーの提供/Web管理画面による複数の水質データ監視/通知機能
	11-4.料金モデル	初期費+月額利用料（詳細はHPよりお問い合わせください。）
12.支援内容の詳細②	12-1.支援タイトル	非接触で行う魚体のサイズ測定支援（AI魚体サイズ測定カメラ）
	12-2.解決の方向性	ステレオカメラで魚を撮影し、ディープラーニングの画像認識技術によって魚体を検出し、ステレオカメラの2眼の位置情報から、魚に触れることなく魚体サイズを測定するサービス。水揚げせずに魚のサイズが測定できるので、作業の人数や時間を軽減が期待できる。また、Web管理画面にてデータを集計し、成長過程を分析することもできるので、今後の効率的な養殖を実現する1つの材料として使用が可能となる。
	12-3.具体的な支援内容	水中カメラの提供/尾叉長、標準体長、体高のデータ集計（平均サイズ/最大/最小/標準偏差）/魚体重換算式の作成/データ分析用のグラフ作成/動画データの蓄積
	12-4.料金モデル	初期費+月額利用料（詳細はHPよりお問い合わせください。）
13.支援内容の詳細③	13-1.支援タイトル	水産業に関わる日常業務のデジタル化支援（水産DX支援）
	13-2.課題解決の方向性	弊社では元々システムの受託開発をメインに事業展開を行っており、ECサイトやコーポレートサイトのようなWebシステムの開発や、スマートフォンのアプリ開発、受発注を管理するような業務系のシステム開発、AIやIoT、VR開発等々、様々な開発が可能である。お客様で取り組まれている日々の業務を今までの開発実績を元に、デジタル化する支援を行うことで、例えば普段は紙で記録しているものをデジタル化することで、人員の削減や作業時間の削減、人に依存しない仕組みづくりに繋がる。
	13-3.具体的な支援内容	案件により都度ご相談。 Ex）電子入札システム、養殖業務記録システム
	13-4.料金モデル	都度お見積りとなります。（詳細はHPよりお問い合わせください。）

14.支援内容の詳細④	14-1.支援タイトル	AIやIoT等の最新技術を活用した新規システム開発支援
	14-2.課題解決の方向性	課題としては認識していても、今までの技術だと解決する手段が見つからなかった課題に対して、AIやIoT、VR等の最新技術を活用した切り口で提案し、解決していく。
	14-3.具体的な支援内容	案件により都度ご相談。 Ex) AIの画像認識技術を活用したフィッシュカウンティングシステムの開発支援、魚の活性度合いを可視化するAI開発支援、水揚げしたマグロのサイズ測定と識別タグに印字された数字の画像解析支援
	14-4.料金モデル	都度お見積りとなります。（詳細はHPよりお問い合わせください。）
15.支援内容の詳細⑤	15-1.支援タイトル	魚のブランド力を向上させる支援（さかなブランディング支援）
	15-2.課題解決の方向性	魚のブランドを確立することで、販路の拡大や魚自体の価値を上げ、生産者の方の売上/利益が上がり、設備や機械への積極的な投資ができる環境づくり等 に貢献する。
	15-3.具体的な支援内容	競合分析/自社分析/課題抽出とアイデア出し、ブランドの定義、消費者や競合他社、自治体などの目に触れるコンテンツの整備（ロゴデザイン/Web改修）等
	15-4.料金モデル	都度お見積りとなります。（詳細はHPよりお問い合わせください。）
支援実績		
16.支援実績例①	16-1.時期	2021年3月～
	16-2.場所	福井県小浜市
	16-3.支援した対象者	小浜海産物株式会社
	16-4.その他関係団体	
	16-5.提供した支援内容	・水産業に関わる業務のデジタル化支援（水産DX支援） ・水質の24時間リアルタイム監視支援（IoT水質センサー）
	16-6.支援効果	測定作業の軽減/人に依存しない計測の実現/異常値発生時の通知機能による斃死の阻止/日誌記録作業の軽減
	16-7.概算の経費	
17.支援実績例②	17-1.時期	2021年12月～
	17-2.場所	山口県下松市
	17-3.支援した対象者	公益財団法人 下松市水産振興基金協会 下松市栽培漁業センター
	17-4.その他関係団体	
	17-5.提供した支援内容	水質の24時間リアルタイム監視支援（IoT水質センサー）
	17-6.支援効果	測定作業の軽減/データ蓄積による魚の健康状態と水質の関係性の分析/異常値発生時の通知機能による斃死の阻止
	17-7.概算の経費	
18.支援実績例③	18-1.時期	2022年6月～
	18-2.場所	高知県南国市
	18-3.支援した対象者	国立大学法人 高知大学
	18-4.その他関係団体	
	18-5.提供した支援内容	水質の24時間リアルタイム監視支援（IoT水質センサー）
	18-6.支援効果	作業者の方の心理的負担の軽減/給餌の判断材料/グラフ作成の手間の削減/周辺地域の水質変化や、データ解析による魚の行動変化の発見
	18-7.概算の経費	
19.支援実績例④	19-1.時期	2023年6月～
	19-2.場所	愛媛県愛南町
	19-3.支援した対象者	安高水産有限会社
	19-4.他関係団体	
	19-5.提供した支援内容	非接触で行う魚体のサイズ測定支援（AI魚体サイズ測定カメラ）
	19-6.支援効果	魚のサイズ測定作業の時間や人員の削減/人に依存しないサイズ測定の確立/成長過程の可視化による従業員の日々の業務の満足度向上
	19-7.概算の経費	
20.支援実績例⑤	20-1.時期	2018年9月～
	20-2.場所	北海道斜里町
	20-3.支援した対象者	斜里第一漁業協同組合/ウトロ漁業競合組合
	20-4.その他関係団体	
	20-5.提供した支援内容	水産業に関わる業務のデジタル化支援（水産DX支援） L電子入札システム
	20-6.支援効果	タブレット入力による入札時間の短縮/水揚げの待ち時間の削減/過去データの参照や入札の経過確認、入札データの分析の実現/年度毎の水揚げ高や入札単価等の傾向の分析を実現
	20-7.概算の経費	
その他		
21.その他	備考・アピール事項等	今後は国内だけでなく、海外へも展開していく予定ですので、既存製品の機能拡張は勿論、新製品開発にも取り組んで参ります。
水産庁ホームページへの掲載の可否		
22.水産庁ホームページへの掲載の可否	☒ 可 ☐ 不可	